

文化財石垣保存技術協議会会報

平成22年(2010) 第6号 —平成22年度事業報告—

第4回研修会

日時 平成22年12月18日(土)～12月19日(日)
場所 兵庫県姫路市(姫路城清水門跡石垣修理現場)
参加者 技能会員9名、技術・研究会員8名

開催趣旨

石垣修復工事における基本作業(番号打ち、墨付け、石垣解体)の確認と検討

研修内容

項目	担当
調査・記録	森 恒裕 (姫路市立城郭研究室)
修復工事	西川 禎亮 (中村石材工業株・本協議会会員)
基本事項・総括	真鍋建男 (株空間文化開発機構・本協議会会員)



石垣背面土層状況説明



研修内容説明



石垣解体作業研修



石垣背面調査概要解説



石垣解体作業研修

第8回全国城跡等石垣整備調査研究会（共催）

日 時 平成23年1月27日（木）～29日（土）
場 所 とりぎん文化会館（鳥取県民文化会館）
小ホール（鳥取県鳥取市尚徳町101-5）

参加者 技能会員 16名、技術・研究会員 13名

開催趣旨

テーマ 『石垣の保存修理の歴史に学ぶ』

主 催 文化庁 鳥取市 鳥取市教育委員会
第8回全国城跡等石垣整備調査研究会実行委員会

共 催 文化財石垣保存技術協議会

後 援 鳥取県教育委員会、米子市教育委員会、
若桜町教育委員会、大山町教育委員会、
(財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会

研究会内容

項 目	発表者等
開会挨拶	深澤義彦（鳥取市副市長）
主催者挨拶	矢野和彦（文化庁文化財部記念物課長）
共催者挨拶	上月 騰（文化財石垣保存技術協議会副会長）
大会趣旨説明	本中 眞（文化庁文化財部記念物課主任調査官）
講演	沢田正昭（国士舘大学21世紀アジア学部教授）
報告 1	細田隆博（鳥取市教育委員会文化財課）
報告 2	根本豊徳（二本松市教育委員会文化課）
報告 3	仲川 靖（滋賀県教育委員会文化財保護課）
報告 4	田畑 基（朝来市教育委員会社会教育課）
報告 5	西川雄大（萩市歴史まちづくり部文化財保護課）
報告 6	平岡正宏（津山市教育委員会文化財課）
討論会	司 会 富田和気夫（石川県金沢城調査研究所） パネラー 根本豊徳 仲川 靖 田畑 基 西川雄大 平岡正宏 細田隆博
まとめ	本中 眞（文化庁文化財部記念物課主任調査官）
次期開催地挨拶	川畑 聡（高松市教育委員会）
閉会挨拶	中川俊隆（鳥取市教育委員会教育長）

【討論会での主な意見】

- ・石垣修理を模索するうえで姫路城における建築物修理の考え方等も参考になる。
- ・何をもちて伝統技術というのかわかりにくい。
- ・金沢城では穴太が修理の記録を残し、それで往時の技術がわかる。修理に携わる方々が何らかの方法で記録を残すことがこれからも重要。

- ・二本松城ではビデオや写真を駆使して膨大なビジュアル記録が行われた。
- ・仙台城では修理を腑分けと考へ、石垣を徹底的に解明して変状原因を究明する努力がなされた。
- ・伝統技術と現代工法をどのようにバランスよく取り入れたかの記録も重要。
- ・何をどう修理したかの記録や、現地で修理の範囲やオリジナルの箇所がわかる工夫も重要。
- ・市民を巻き込んだ取り組みや工夫も今後必要。



上月副会長の挨拶



討論会



本中氏によるまとめ

【本中 眞氏(文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官)によるまとめ概要】

- ・石垣の修理・復元の現場において、「歴史のプロセス」をいかに大切にし、責任をもつのかを考える機会となった。
- ・石垣のどの部分をどのような手法に基づき選び取り、全体としてどのように調和のあるものとして残してゆくのか、取捨選択の根拠を明確化し、全体の調整・維持を図る視点が大切。
- ・文字・写真・図面として残されたものだけでなく、声として伝えられたものもある。そのような様々な物証を文字にして残してゆく義務がある。
- ・修理・復元は石垣の新たな価値を生む。変えてはならない部分又変わってはならない部分と、修理・復元することによって付加される新たな部分との関係を、価値付けの観点から捉えなおすことが求められる。
- ・次の世代を担う若い人たちと経験豊かな中高年の人たちとのコンタクト、次の世代を担う 10 代の子供たちとの接点等、世代を超えた議論と交流が新たな流れを生み出す。

視察研修

1月29日には、積雪の史跡鳥取城跡山ノ丸において鳥取市の細田氏の解説による視察研修が行われました。研修では本協議会上月騰副会長をはじめとした石工さんにより、フイゴによる火おこしから焼き入れまでの道具鍛冶の実演も行われました。



上月副会長による道具鍛冶実演



細田氏による鳥取城跡解説



細田氏による鳥取城跡解説



上月副会長による道具鍛冶実演



鳥取城跡視察状況

文化財保存技術 2010

～文化財を支える『伝統の名匠』～への参加

日 時 平成 22 年 9 月 18 日 (土) ～20 日 (月・祝)

場 所 平城宮跡資料館・まほろばステージ

(奈良県奈良市)

参加者 技能会員約 10 名、評議員 1 名

主 催 文化庁

内 容 「選定保存技術フォーラム」での活動報告、
協議会の活動内容紹介 (パネル展示)、石工道具の展示



展示状況



展示見学状況

■総会・講演会開催のご案内

開催日 : 平成 23 年 7 月 18 日 (月・祝)

開催場所 : 日本城郭研究センター 大会議室

開催時間 : 13:30～14:30 総会

14:45～16:15 講演会

講 師 : 三浦正幸 (広島大学大学院教授・本協議会評議員)

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。各地の文化財石垣についても崩壊するなどの被害が確認されつつあります。一日も早くもとの姿に修復されることを願っております。

■事務局からのお知らせ

2009 年第 2 回研修会の資料集 (1000 円) を販売しております。ご希望の方は下記の通り申し込み願います。

【申込方法】資料代金 1000 円は現金または郵便定額小為替、送料 210 円は切手で、両方を現金書留等の郵送で事務局に申し込んで下さい。

詳細は、姫路市立城郭研究室ホームページ (<http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/index.html>) にも掲載しております。

■事務局・広報担当からのお願い

○研修会などの参加感想や、文化財石垣について日頃疑問に思っていることなどありましたら下記事務局まで書面にてお知らせください。

年 2 回の会報ですが、可能な限りお答えしていきたいと思っております。

○当協議会が実施する研修内容や項目について要望があれば書面で事務局までお知らせください。

内容を検討のうえ、各種事業に反映させていただきます。

○各地の文化財石垣情報、書籍、刊行物の発行がありましたら情報提供ください。

■入会手続き

入会をご希望の方は、まず事務局にご連絡ください。当協議会の入会申込書を送付いたしますので、必要事項を記入のうえ、下記の事務局へご返送ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費 (4 月～翌 3 月) をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成 23 年 5 月 31 日現在)

技能会員	115 名
技術・研究会員	57 名
一般会員	12 名
賛助会員	14 名
評議員	8 名

発行年月日 平成 23 年 5 月 31 日

編集・発行 文化財石垣保存技術協議会

事務局住所 〒670-0012 姫路市本町 68-258

日本城郭研究センター内

TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890